

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104951
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム帯迫
所在地	鹿児島市吉野町2826-1 (電話) 099-295-7055
自己評価作成日	H27年10月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当グループホームは鹿児島北部吉田インターより車で10分、住宅地に位置しており、円型の建物の中にデイサービスが併設している。</p> <p>近隣には母体の医療法人や介護老人保健施設など多くの関連施設があり、利用者様の健康管理や緊急時も安心した生活が送れるよう支援体制がきざかれています。</p> <p>自治会に加入しており、地域の行事(夏祭り・運動会等)にも可能な限り参加し地域との交流に繋げている。地域交流会として年1回の炊き出し訓練や餅つき、灰汁巻きづくり、踊りのボランティアが誕生会に月1回来訪、利用者様はこれら機会を楽しみにしている。又 裏の畑にはからいもやかぼちゃ、大根、菜っ葉等色とりどりの野菜類を植えてあり、収穫を楽しみにしている。</p> <p>リビングのテーブルが台形で用途に合わせて自由自在に組み合わせる事が出来、機能的で利用者様同士の相性もあり、コミュニケーションの場となっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>○ホームは鹿児島市の商店街に近い静かな住宅街に位置し、デイサービスセンターと併設されている。近隣には母体医療法人や介護老人保健施設など多くの関連施設もあり、母体医療機関との連携は緊密で十分な支援体制が築かれており、利用者や家族からの信頼は極めて厚いものがある。</p> <p>○地域との連携にも積極的で、自治会に加入して地域の祭りや運動会、清掃活動等に参加すると共に、日常的に地域の人々と挨拶や話を交わしている。また、ホームでの年に数回の地域との交流会の開催や誕生会への踊りのボランティアの来訪など交流の機会は多く、利用者はこれらの機会を楽しみにしている。</p> <p>○また、防災や接遇、身体拘束等の各種委員会が設置され、それぞれの委員会ごとに月次のテーマをあらかじめ設定して有意義な活動を展開している。委員会や職員会議では常により良い支援を実現することに視点を当てた意見交換がなされ、柔軟な取り組みを目指しており、利用者や家族にとって安心を与えるホームである。</p> <p>○利用者の自由な暮らしの支援を、職員の見守り方法を工夫する努力で実現している。職員は常に利用者の状態や行動を把握し、外出時は職員が付き添うと共に、近所の方々とは日頃の散歩中の挨拶や会話により、見守りや声かけをしてもらえるような関係が築かれている。身体拘束に関する職員アンケートを年1回は実施し、職員自身がケアの状況を振り返ると共に、アンケート結果を分析して日々のケアに活かせるように努めている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の中に地域に密着したサービス提供する内容を掲げ 法人全体の職員会議時に唱和・共有・実践に努めている	理念に沿って職員心得や年間目標も設定して、地域とふれあいながら利用者が毎日を楽しく穏やかに過ごせるようなケアに努めている。理念は掲示し、職員会議や毎日の申し送り時に唱和して意義を振り返り、理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており、地域の行事（夏祭り、運動会等）にも可能な限り参加して地域との交流を深めており日常的にGH近隣の方達とは挨拶を交わしている。	自治会に加入して地域の祭りや運動会、清掃活動等に積極的に参加し、日々の買い物や回覧板連絡時などに地域の人々と挨拶や会話を交わしている。また、ホームで年数回は地域交流会を開催して餅つきやちまきづくりなども行い、毎月の誕生会には地域のボランティアが来訪されるなど交流の機会は多く、利用者はこれらの機会を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域に対する貢献は今のところ発揮できておらず、今後の課題です。運営推進会議の中では利用者様の様子や事例を通して認知症のケアに関する事は伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では毎回利用者様の状態、活動報告や取り組み、事故・苦情研修の報告を行い、委員の意見を参考にしてサービスの質の向上に繋げている。今後は認知症サポーター養成講座を考えている。	会議は、利用者や家族・地域住民・地域包括センターの職員・民生委員等関係者が参加して定期的開催されている。ホームの現況報告や行事、事故や苦情の報告、課題等についての意見交換が行われると共に、時には防災訓練や地域交流会、家族会なども実施している。職員間で会議の内容を共有して具体的に日々のサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市から介護相談員が年1回来訪、利用者、職員の相談や事業所の実情を伝えている。困り事や分からない事は随時、市の方へ連絡 協力関係を築けるようにしている	市担当者には入退所や認定更新の手続き等の相談に助言・対応して頂くと共に、ホームの状況や利用者に関する相談等を電話や訪問で伝えるなど、必要な情報交換や連携が図られている。また、年に1回は市の介護相談員の受入もあり、ホームとの意見交換や情報交換が行われている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する勉強会を委員会を中心に行っている。何気ない私達の言葉の拘束によって利用者様を傷つけているのではと自分自身振り返りを行っており年1回身体拘束に関するアンケートを行い分析、勉強会に繋げて拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をはじめとした高齢者の権利擁護や虐待防止に関する勉強会を行い、特に言葉による拘束の防止への理解を深め、ケアへの反映を図っている。また、身体拘束に関する職員アンケートを年1回は実施し、職員自身がケアの状況を振り返ると共に、アンケート結果を分析して日々のケアに活かせるように努めている。玄関や居室の施錠は行っておらず、職員は連携して利用者の見守りに努め、個人の気持ちを尊重した対応を心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待（身体的、言葉等）についても勉強会を行っている。虐待防止に関する貼り紙を貼り、常に意識をしながらケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度については研修等で学ぶ機会を持つようにしているがまだまだ理解不足で活用はされていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前入居時ご家族に要望や不安に思っていることなどを尋ね、理解していただけるよう説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族とは年2回の家族会時や来訪時になるべく話しやすい雰囲気作りに努めており、利用者やご家族からの要望をお聴きしてサービスの反映に繋げている。	利用者の思いは日常会話や表情の見守りから、ご家族とは来訪時や年2回の家族会の際に話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。日々の申し送りや職員会議で内容を共有して対応を話し合い、必要なことは速やかに本人はもとより、ご家族にも電話やホーム便りで報告してサービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や週1回 上司との部署会議、管理者会議等で提案、意見を話し合う機会を設けて業務改善やサービス向上に繋げている。	管理者自身が日頃より話しやすい雰囲気作りに努めている。月2回の職員会議や毎日の申し送り、また個別面談を通じて、職員の悩みや業務に関する意見等を聞き取り、業務改善やサービス向上につなげている。難しい事案は法人本部とも話し合いできるしくみも築かれており、可能な限り職員の意見が反映されるよう配慮されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回Eワークを利用、振り返りや評価、目標達成に向け上司と面談、向上心を持って働けるように努めている。又 介護技術面では介護マイスター研修で実技チェックを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々の力量を把握、年間で計画をたて、順番に法人内外の研修を受けてもらうようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉野地区のGHでは年1回 相互訪問し、交流する機会を設けている。今後はサービス事業所連絡協議会を立ち上げ、地域に向けてのネットワークづくりや地域の活性化を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能な限り、入居前のサービスを開始する段階で見学の機会を設け、ご本人の要望や不安に感じる事を伺い、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する段階でご家族の不安や要望に耳を傾けて信頼関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にまずスタッフ間で話し合いの場を設け、ご家族からも話を聞き、必要とされる支援を見極め、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意見や要望を聴きながら出来る事はして頂き、またご利用者から教わることが多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りや面会時に日頃の様子をお伝えしている。又利用者様の誕生日にはご家族の要望を尋ね一緒にお祝い出来るよう計画している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、入居者様が重度化しているが可能な限りなじみの場所（床屋・美容室・ドライブ・買い物等）への外出支援に努めている。地域の民生員、隣近所の方などがたまに面会に来られる	入所時の聞き取りやご家族の来訪時の会話から、本人が希望する商店や美容室・地域の祭りや催し物・一時的な帰宅や近隣のドライブ希望などを把握して、必要に応じてご家族とも調整しながら可能な限りの支援に努めている。また、家族や親戚の方々の来訪時には、ゆったりと過ごせるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブル（席）の配置を工夫、利用者様同士が良い関係を築けるよう、又職員が間に入り、スムーズにコミュニケーションが取りやすい様 配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じ、関係性を大切にしている。グループホームでは生活中的写真、アルバムやCDにしてお渡しする等工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の時間を持ち日々のかかわりの中で本人の意向を汲み取り気づき、職員間の共有を図る。又困難な場合はご家族の情報をいただき、日頃の表情や声の強さなどで思いや意向を汲み取るよう努めている。	自分の思いをうまく表せる方が少ない中、職員は利用者の日頃の表情や会話、ご家族からの情報を基にして、思いや意向をくみ取るように努めている。把握できた内容は個別援助生活日誌への記述や日々の申し送り等で共有し、必要な意見交換を行い対応を検討すると共に、ご家族とも協力しながら最良の支援を目指して努力している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活環境が出来るだけ継続出来る様に、ご家族より情報収集等に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子や身体状態を良く観察、現状の把握に努めている。変化があった時は、申し送り時に伝達、記録し、職員間での情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、ご本人、ご家族の意向を基に介護計画を作成している。モニタリングも職員で話し合いケアの経過は個別の日誌に記録しており、見直しの際に役立っている。	日頃の利用者との関わりやご家族来訪時に得られた情報や、定期受診時の医師並びに訪問看護の看護師の意見、カンファレンス時の職員の意見も基にして、わかりやすい内容の介護計画を作成している。ケアの経過は個別援助生活日誌に詳しく記述されており、これを基に介護計画の見直し・修正が適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランにそってケアの実践を行い、変化や気づきを個別記録に記入し、問題等があったらカンファレンスを行い、職員間で情報の共有して、実践するようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要としている事を見極め出来る限り柔軟なサービス提供出来るよう努めている。例えば、ご利用者の病院受診介助や入院中の支援（こまめな面会、衣類の洗濯等）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加している。ホームの行事を案内したり、ボランティアの受け入れをおこない、繋がりを持つようにしている。買物は近所のスーパーへ一緒に出かけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、主治医の確認を行い、希望する医療機関での受診を行っている。専門病院受診の時はご家族や職員が付添い適切な医療を受けている。	母体医療機関をかかりつけ医とする利用者が多いが、本人やご家族の希望を最優先して訪問診療や専門医の受診を適切に支援している。また、毎週訪問看護師の来訪もあり、受診状況や必要な対応は職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に訪問診療・訪問看護があり、必要に応じて報告 相談を行い、指示を貰っている。緊急時は内科へ報告、場合によっては往診依頼している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中等病院との連絡相談を適宜行い、病院と円滑な関係作りに努めている入院中の様子を伺い、早期退院が出来るか利用者にとってどのような対応がいいのか相談、情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方についてはご家族に説明を行っている。状態に変化があるときはその都度事業所で出来る事、できない事を充分話し合い職員で共有している。職員に対して訪問看護師より看取りケアについても指導が行われている	重度化や終末期のケアについては、「看取りに関する指針」を定めて家族に十分説明している。また、看取りの実績もあり、ホームとしては様々な状態の変化に応じて、ご家族及び主治医・看護師などの関係者と十分に話し合い、可能な限りの支援・対応ができるように体制を築いている。職員に対して主に訪問看護師より看取りの際の対応についても指導が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変事や事故発生時の対応については全職員が実践できるよう定期的に確認を行っている。リスク委員会を中心にマニュアル作成を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署や地域の運営推進委員の協力の基、日中夜間交互に想定し避難訓練を行っている。月1回小規模訓練（避難、台風）災害時の炊き出し訓練年1回</p>	<p>年2回は消防署や地域住民の協力を得ながら夜間想定も含む消火訓練や避難訓練を行っている。併せて年間計画に基づく火災や地震・台風等を想定した自主訓練も実施し結果の評価を行うとともに、運営推進会議に合わせて災害時の炊き出しの訓練も行っている。また、スプリンクラーや自動通報装置等の設置や食料・飲料水等の備蓄も問題ない状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重した声掛けや言葉使いの対応に配慮している。接遇委員を中心に勉強会を行い、プライバシーを損ねない言葉に気を付けている。	利用者の人格を尊重して、日頃の暮らしの中で誇りやプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように、接遇委員会が中心の研修や職員会議等で方法を共有して日々のケアに取り組んでいる。利用者に関する各種の記録の取り扱いや居室の保護などにも十分に配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の要望や思い、意向をお聴きする際、選択をしてもらいやすいような声掛けに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員ペースで動いている事もあるけど出来るだけ利用者個々のペースに合わせて、安心して穏やかに過ごして頂けるように気を付けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な散髪、カットの支援を行っている。離床時には身だしなみを整えてから誘導を行うようにしている。出来るだけ好みの洋服を一緒に選ぶようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に食器を洗ったりお盆を拭いたりしている。食について話題に触れ、リクエストを聞き、食事を楽しみにして頂けるよう努めている。	利用者の好みや希望を献立に反映させながら、野菜の収穫や下ごしらえ、食卓の準備や片付けなど利用者の能力に応じて一緒に行い、食事を楽しむ雰囲気作りに努めている。また、季節を感じられる食事の提供や利用者で行うおやつ作り、家族や職員との外食、中庭での花見や食事会、弁当持参のピクニックなどの多くの工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事の提供を行っている。(食事形態・食事量・温度)食事量、水分量を記録、時間関係なく状態に合わせて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態に合わせて口腔ケアを行っている。出来るところまではして頂き、磨き残しは介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけており、利用者様のトイレ誘導の声掛けやトイレに行くタイミング(しぐさ等)を見逃さず早めの対応を心がけている。	職員は連携して利用者の様子を細かく見守り、併せて24時間記録の排泄チェック表で個々のリズムを把握して、可能な援助方法を検討して自立に向けた支援を行っている。また、トイレは各居室にあるものの、誘導等の言葉かけにも十分配慮して利用者の羞恥心や不安の軽減にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や水分、腹部マッサージ等の便秘予防に努めているが、利用者のほとんどが便秘症で内服にて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	予定にとらわれず利用者の希望やタイミングに合わせて、本人のペースで入浴を楽しんでもらえるよう支援している。	利用者の体調や希望にもよるが、週に2～3回はゆったりと入浴を楽しんで頂けるように支援している。入浴を拒否される場合には、時間をかけて話を交わすなどの対応を心がけると共に、特に安全確保に配慮した利用者本位の対応となるように工夫を重ねている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ昼間の活動（日光浴散歩等）を促し、個々の生活習慣に合わせて安心して休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や用法、用量は理解しているものの副作用は把握できていない時あり。インターネットで調べたり薬剤師に尋ねるようになっている。服薬を行う際には誤薬のない様気を付けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の趣向を把握し、状態に合わせて役割を持って頂いたり、楽しみ事（レク、散歩、テレビ視聴、新聞等々）を取り入れている。又気分転換にドライブや外食、買い物支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出の希望があるときには、出来るだけ屋外に出かけられるようご家族にも協力もらいながら支援してする。（地域の行事、買い物、外食、ドライブ等々）中庭には日常的に出やすい建物の作りになっているので外気には触れる機会は持てている。	必要に応じてご家族の協力も仰ぎながら、利用者の希望に沿って地域の行事やイベント、季節の花見、外食、ドライブ等を可能な限り支援している。日常的には日当たりのよい中庭での日光浴や食事会をはじめ、近隣の散歩や買い物、ドライブなど、車椅子やリフト車なども適切に活用しながら外に出かけて楽しんで頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つことの大切さは理解しており、希望される方には、家族の了解を得て、買い物時ご自分の財布から使えるよう支援に努めているが、現在ほとんどの利用者の方が希望されてない。お一人の方はお金を所持している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在自ら希望される方はいないがたまにご家族の安否が心配という方は電話をかけ、安心して頂いている。毎月の便りで職員が代弁で様子を書いて送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂、居間、台所がワンフロアになっており、キッチンが対面式になっているので解放感があり、中庭も広くGHの真ん中には桜の木が季節を感じさせる空間となっている。音・光・室温に配慮、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>リビングはゆったりとしたスペースで明るく、室温や換気調節にも十分に配慮がなされている。季節を感じることで花を飾り、貼り絵などもあり、利用者にとって不快に感じるような音や匂いもなく気持ちよく過ごせるように工夫されている。また、中庭も明るく、天気の良い日は日光浴や地域の方々との交流も楽しんで頂いている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の状態や気の合った利用者同士がゆっくり過ごせるようソファやテーブルの配置に配慮、居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は畳とじゅうたんを敷いてありトイレと洗面所が設置されている。使い慣れた家具や好みものを持ち込んで、ご自分の部屋として安心して生活できるように工夫している。	居室は畳とじゅうたんの落ち着いた雰囲気、トイレと洗面台・エアコンが設置されている。利用者が使い慣れた家具や身の回りのものを持ち込んで頂き、本人が自分の部屋として安心して暮らせるような環境となるようご家族とも協力しながら支援している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	ベットから立ち上がる際、転倒のリスクのある方は足元に滑り止めを敷き、安全に立ち上がれるようにしている。安全に移動が出来るよう生活導線の環境整備にも気を付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	グループホームの理念に沿って地域の中で毎日を楽しく穏やかに過ごせるように努めている。法人全体の勉強会では唱和をして共有、実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入、回覧板を回す際、近隣の方達と出来るだけ立ち話を行うようにしている。地域の行事（夏祭り・運動会等）に積極的に参加交流している。GHでの地域交流会を年2回程行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の中でGHの利用者様の様子や事例を通して認知症の方の支援方法や取組みを伝えており、今後認知症サポーター養成講座を行い、広めて行きたいと考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者・御家族の参加もあり毎回GHでの取り組みや活動内容、事故報告、苦情報告等の報告をし、意見交換を行いサービスの向上に努めている。12月には認知症サポーター養成講座の予定。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>鹿児島市から介護相談員が年1回来られ、色々と利用者様から要望等を引き出して職員に伝えている。GHの困りごとや分からない事等は必要に応じ市へ連絡、連携を持つよう努めている</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設け、定期的に勉強会を行い防止に努めている。一緒に散歩、ドライブに行く等、可能な限りご利用者の意思を尊重、行動を制限しないよう努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待（定義）を定期的に勉強会に組み入れ、特に言葉の虐待が見過ごされる事がないよう職員間で注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>個々の外部研修では学ぶ機会はあるが、内部での勉強会は今のところないです。今後 必要に応じて学ぶ機会を増やして行くように努める。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時にはご利用者やご家族の不安に思っている事や要望等をお聴きし、納得のいくよう説明を行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置しているが、ほぼ活用されておらず、家族会や面会時に意見・要望をお聴きし、運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月2回の職員会議や週1回の部署会議(上司との話し合い)月1回の管理職会議などで職員の意見や提案等を伝えるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回のEワークを活用(5段階)上司と面談を行い、目標を設定職員個々が向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々のケアの実際と力量を把握《Eワーク・マイスター》し、法人内外の研修を受ける機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉野地域のGHで立ち上げているよかど会に加入しており、勉強会や職員交流（相互訪問）の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する際にはご本人が困っている事や不安な事等に耳を傾けてご家族との情報交換に努め、ご本人の安心と安全の確保に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族が感じられる不安や要望、希望されるケアについて言って頂きやすい関係づくりを心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時にご本人、ご家族がまず必要としているサービス・支援を把握出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と共に過ごし、支い合える関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や毎月の便りに日頃の様子をお伝えしており、ご利用者の誕生日にはご家族と一緒に外食やGHにて食事・お茶等を楽しんでもらえるよう関係づくりに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>これまで大切にしてきた馴染みの場所への外出支援（床屋・美容室・公園・公民館・馴染の店）出来るだけ途切れないよう支援している。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係は常に把握するようにしている。個々が孤独にならないよう、ストレスとならないような支援に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が終了してもこれまでの関係性を大切にしながら必要に応じて相談に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者個々の思いや要望・意向を汲み取るようにしている。把握出来た内容は記録し、日々の申し送り等で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活を出来るだけ継続して行けるよう今までの生活歴や暮らしぶりをご家族より情報を収集、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者個々の日々の過ごし方を把握し、持っている力を引き出せるよう努めている。出来る事は継続出来る様にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃の利用者との関わりやご家族、主治医、看護師等の意見、カンファレンス時の職員の意見を反映し介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケアの実践、気づき等を個別日誌に記録し、職員間で共有、計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々のご利用者、ご家族の要望に可能な限り応えられるよう取り組んでいる（お孫さんの結婚式へお連れした）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	可能な限り、近所への買い物・病院受診・散髪等行くようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の医療機関をかかりつけ医の利用者が多いが入居時には確認を行っている。専門医受診の時は御家族と相談し適切な医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護の時、利用者様の状態を相談している。 月2回の訪問診療。 その都度 内科へ報告、相談し場合によっては往診依頼している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院した際は様子を観に行き、看護師から状態を聴くなどの連携は取れるようにしている。毎週月曜日には回診があり主治医から情報を得ている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のケアについては{看取りに関する指針}を定めてご家族に説明を行っている。状態に変化があるときはGHで出来る事、出来ない事を関係者と充分話し合い、チームで取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者の急変や事故発生時に備えて、職員が実践できるよう訓練を行っている。 年1回応急手当やAEDの訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の立会いの下（夜間想定・日中想定）毎月小規模訓練（避難誘導・台風・緊急連絡網）を行い、年1回炊き出し訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者個々の人格を尊重、傷つけないような声かけや対応に気をつけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや要望等を出出できるような働きかけ、声かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り、利用者個々のペースを大切にしたいと考えているが、職員側のペースで		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に散髪、美容室を依頼している。出来るだけ起床時に好みの洋服を一緒に選ぶようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の能力に応じてお盆拭きや野菜の皮むき等をして頂いている。出来ない方は台所前に来てもらって調理見学をしている。外食や天気の良い日は中庭での食事を楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々に合わせて食事の提供を行っている。食事形態（刻み・極刻み・ミキサー・おかゆ等）習慣に合わせた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており磨き残しは介助している。定期的に歯科訪問を受けている利用者もいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄パターン（習慣）を把握、状態に合わせて早めの対応を心がけている。トイレ誘導時の声かけにも配慮、羞恥心やプライバシーに気をつけている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や水分・食事・運動等の便秘予防に努めているが、ほとんどの利用者が便秘気味で内服に頼っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者のご希望があれば予定に捉われず、タイミングや体調に配慮、安全を確保しながら入浴を楽しんでもらえるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の生活習慣を大事に考え、状況に応じて安心して過ごしてもらえるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や用法・用量は理解しているものの副作用は把握できていない時がある。分からない時は薬剤師に尋ねるようにしている。服薬後の状態の変化は記録し、共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の生活歴を把握嗜好品や楽しみ事・役割を持って過ごして頂けるよう支援している。気分転換にドライブ、買い物等の外出支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	必要に応じてご家族に協力してもらいながら利用者の要望や体調に合わせて地域の行事、季節の花見、買い物、ドライブに可能な限り外出を楽しんでいる。日常的に中庭では散歩、お茶・食事などを楽しんでいる。裏の畑にも野菜・からいもがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分のお金を持つ、買い物をする等の大切さは理解している。要望のある利用者に対する支援は行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在お一人の方が携帯を持っており、用事のあるときは電話をしている。子供さんの事が気になりな時は電話をして話してもらう等の配慮をしている。毎月の便りで近況を送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用のスペース部分は音・光・室温や換気調節にも配慮、生活感、季節感を採り入れて居心地良く過ごせる様 工夫に努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士の関係は常に把握するようにしている。個々が孤独にならないよう、ストレスとならないような支援に努めている利用者同士が気軽に集える工夫の取り組みに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れた家具や身の回りの物を持ってきてもらい、心和む居室の空間作りに努めている。ご自分の居室として安心して過ごして頂けるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者個々の出来る事、出来ない事を見極め、安全な生活が送れるよう工夫している。生活導線の環境整備に物を置かないように気を付けている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない